

会 議 録

会議の名称	アイセルシュラホール活用事業 第1回検討会議
開催日時	2022年8月30日(火) 10時00分から12時00分まで
開催場所	アイセルシュラホール 3階視聴覚室
出席者	有識者 大手前大学 森下教授 阪南大学 和泉教授 四天王寺大学 天野教授 大阪府 教育庁 文化財保護課 土屋課長補佐 三好主査 藤井寺市 観光課 松宮課長 松田チーフ 文化財保護課 尾花課長 新開課長代理 藤原主査 福田専門官 資産活用課 八尾課長 角谷副主査 生涯学習課 木村課長 図書館 松浦館長代理 事務局 株式会社スタジオ三十三 撫養 小林 林 小柳
会議の議題	アイセルシュラホール観光拠点化基本構想の作成について
会議の要旨	施設の現状確認及び必要機能と内容、ゾーニングについての意見交換
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 ()
公開・非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	—
その他の必要事項	

打ち合わせ内容：

1. 参加者紹介

- ・事務局より参加者を名簿順に説明

2. 検討会議の進め方について

- ・第一回検討会議で提案された意見を事務局がまとめ、その基本構想（案）に対してご意見をいただき進めていく

3. 基本構想（案）について

- ・事務局よりアイセルシュラホール観光拠点化基本構想（案）について説明

4. 施設の現状確認

生涯学習課主導のもと施設を見学する

1) 地下1階

- ・問題点は入口、搬入口が狭い階段しかない、雨漏りがある（生涯学習課）

2) 1階

<屋外>（説明：生涯学習課）

- ・温室は設備が故障しているため、温室として使用していない（生涯学習課）
- ・アイセルシュラホールには駐車スペースが少なくピロティーには多くの自転車がとまっている（生涯学習課）
- ・階段側の入口にある広場はあまり有効活用されていない（生涯学習課）
- ・外壁の木材に関してはカビによる黒ずみは設計当初から予想しており、劣化は致し方ない（生涯学習課）
- ・景観を優先して木造の外壁にしている（生涯学習課）

<カフェコーナー>（説明：生涯学習課）

- ・コロナ前はカフェコーナーでボランティアの方がお茶を提供していたが昨年度末で解散している（生涯学習課）
- ・カフェスペースの厨房設備は電気・水道が通っている（生涯学習課）

<高齢者憩いの場>（説明：生涯学習課）

- ・高齢者憩いの場は誰でも利用できるのか、新規登録者が利用しづらい雰囲気などはあるか（有識者）

→登録すれば利用可能、新規登録者もいる（生涯学習課）

<文化財発掘調査整理室>（説明：文化財保護課）

- ・狭い、仕切りが多いのでもう少し面積を広げたい（有識者）

<地域安全センター>（説明：生涯学習課）

- ・現在、使用されておらず職員が会議等で使用している（生涯学習課）

<からくり時計>（説明：生涯学習課）

- ・からくり時計は故障している、過去に修理しようとしたが部品がないと断られた（生涯学習課）

3) 2階

<図書コーナー> (説明：図書館)

- ・藤井寺市の貸し出し実績の1/4を占めているので図書室の機能は今後も継続していきたい(図書館)
- ・住民票の発行手続きのついでやイベントの際など、多くの利用者が本を借りにくる(生涯学習課)
- ・利用者の年齢層はどの年代が一番多いのか(有識者)
→普段はご高齢の方が多い(生涯学習課)

<展示コーナー> (説明：生涯学習課)

- ・各時代の説明と出土品が展示してある(生涯学習課)
- #### <歴史展示室> (説明：生涯学習課・文化財保護課)
- ・西墓山古墳の展示の上にはスクリーンがあり映像を投影することも可能(生涯学習課)
 - ・重要文化財の水鳥埴輪は修理してから時間がたっているため、移動することになったら、修復を検討しなければならない(文化財保護課)
 - ・小修羅などを移設するのであれば保管場所や設備なども見直していく必要がある(文化財保護課)
 - ・空調設備は文化財に配慮した設備ではない(生涯学習課)

<AVコーナー> (説明：生涯学習課)

- ・夏休み期間中は子供たち、普段は近所の福祉施設の方がヘルパーさんと一緒に利用している(生涯学習課)

<幼児コーナー> (説明：生涯学習課)

- ・階段側入口から入ってきて親御さんが図書コーナーで本を借りた後、お子さんに読み聞かせをしたりしている(生涯学習課)

4) 3階

<研修室> (説明：生涯学習課)

- ・船形の先端部分にある研修室は景観がとても良い(生涯学習課)

5) 4階

<屋内多目的広場> (説明：生涯学習課)

- ・外壁は雨による腐食で定期的にメンテナンスをしている(生涯学習課)
- ・屋内多目的広場の屋根は一部開閉可能だが、鳥の被害がひどいのであまり開放していない(生涯学習課)
- ・空調設備はあるが効き目はあまりよくない(生涯学習課)

5. 基本構想作成に伴う意見交換

- ・検討用別紙資料に基づき事務局(案)について事務局より説明
- ・検討用別紙資料に基づき文化財保護課より補足説明

世界遺産としての価値を来訪者に理解してもらい、市民と観光客にさらに発展的に利用される施設を目指していきたい

- ・検討用別紙資料に基づき観光課（案）について観光課より説明

1) アイセルシュラホール 1 階について

（有識者）

- ・喫茶コーナーをシェアキッチンにするには厨房設備を整えないといけない
- 厨房の改修費用はかかるが理想はシェアキッチンにしたい（観光課）
- ・温室は目立つ建物なので利用したい。カフェなどに改修して噴水の近くで飲食してもらおうなど波及効果が狙える
- ・ピロティーにはキッチンカーが来てくれたら変化があってよい
- ・観光案内施設ゆめぶらざと同じようなグッズを販売するのか
- 販売する商品は藤井寺市直営のグッズ他、委託販売も行っていきたい（観光課）
- ・ゆめぶらざと「観光」の機能が重複してしまうのではないか
- 藤井寺市を活性化させる為にゆめぶらざでパンフレットを配布し、足を運んでもらうように工夫する（観光課）
- ゆめぶらざからアイセルシュラホールへ誘導できるので良いと思う（有識者）
- ・地域住民による地域野菜の販売や、ゆめぶらざにあるカプセルトイを設置したら面白い

（有識者）

- ・文化財整理室が狭いので拡張できるスペースを考えなければならない
- ・世界遺産の現地と実物を繋ぐ文化サイクルにしていくためにも展示施設の中だけではなく、世界遺産と実物をどれだけ結びつけていくのかが重要
- ・エコミュージアムのような発想で保存、保全に繋がる機能があればよいと思う
- ・藤井寺市に古墳エリアのきちんとした博物館がないのでアイセルシュラホールがそういう場になればいいと思う
- ・ソフト面のテーマをしっかりと考えていく必要がある

（資産活用課）

- ・建築基準法への配慮のため必要以上に壁を撤去しないほうが良い
- ・温室の建物を温室以外の使用等、多目的な利用で検討するなら建物の用途を見直さないといけない
- ・ピロティーにキッチンカーを呼ぶ場合、消防法等と照らし合わせて考えていかなければならない

2) アイセルシュラホール 2 階について

（有識者）

- ・アイセルシュラホール観光拠点基本構想（案）第3章基本理念と方針「3-1 基本理念（仮）」p18の世界遺産百舌鳥・古市古墳群の世界遺産としての価値の属性 a～属性 c の

要素も大事だがそれに加えて古墳とは聖なる空間である、という方向性で空間づくりをしてはどうか

- ・古墳づくりにかかる労力やエネルギーを展示で表現したい
- ・水鳥埴輪の他に狼塚古墳から出土した方形の導水施設形埴輪も珍しく、目玉になる展示物なので、是非展示したい

- ・南側の展示スペースは映像を放映したり埴輪や写真を展示してはどうか

(有識者)

- ・和歌山県の太地町「くじらの博物館」を参考にし、学術都市として研究者の研究活動が観光振興につながるような展開をしても良いのではないか

- ・藤井寺市にも一般市民が研究したことを発表するスペースがあった方がいいと思う
→市民学芸員が研究結果を披露する場所を設けることも踏まえて検討していく (事務局)

(有識者)

- ・展示物は変更しない前提だとすると、来館する度に代わり映えのない展示内容になってしまう、2、3か月ごとに展示内容を一部変更してみてはどうか

- ・検討用別資料 p5「2F 世界遺産・展示室案」の古墳時代・考古資料コーナーの西側の廊下に井真成の石碑を設置し藤井寺市公式キャラクターのまなりくんと関連づけて展示したら面白いと思う。例えば、まなりくんの家コーナーを作り来館すれば「まなりくんに会える」という付加価値等をつける

- ・AV ブースは撤去しても問題ないと思う。撤去した分、展示スペースを広げたい

- ・スクリーンや映像機器の新調は検討しているのか

- ゾーニング案がある程度決まってきたら追加購入の機器について考えていく (事務局)

- ・幼児コーナーは景色が良いのでそれを活かしていきたい

(大阪府)

- ・観光客が周りながらどのタイミングでアイセルシュラホールへ来館してほしいのか明確にするべき

- 航空写真を設置してアイセルシュラホールから古市古墳群へ足を運んでくれたらいいと思っている (事務局)

(大阪府)

- ・小修羅と水鳥埴輪は重要文化財なので規則を守ったうえで基本構想を考えていくべきである

- ・適切な公開環境下での展示物ありきで観光の情報を発信していくことが大事である

以上